

12月議会に提出された請願 [4本 (一部割愛)] [4本]

- 森林・林業・木材関連政策の推進を求める意見書の提出を求める請願 ⇒ 不採択
 (社民党会派の対応) 日本の森林資源の循環利用の確立をはじめ、森林・林業政策の推進、地域林業の発展につながる人材育成、林業事業体の育成・確保などに向け、具体的な進展を図ることが必要なことから、請願に賛成
- 政務活動費の議員個人への完全後払いに向けた請願 ⇒ 不採択
 (社民党会派の対応) 過去の政務調査費・活動費の不適切支出や領収証改ざんなどの温床は、先払い制度にありました。社民党会派は、政務活動費の不正根絶には、議員一人ひとりが一旦、政務活動費を立替払いし、第三者機関等による審査を通ったのち議員個人に支給する完全後払いを、一貫して主張しています。問題となる事象が起きないように、政務活動費の議員個人への完全後払い制度を確立しておくことが必要との認識から、請願に賛成
 ◎ 東が総務文教委員会にて賛成討論をしました。
- 事後審査による政務活動費の支払いも認めることを求める請願 ⇒ 不採択
 (社民党会派の対応) この請願の趣旨は理解するものの、請願の理由の中で「事前審査を受けていないために、適切な使用に対して政務活動費から支払われないことは、議員活動に対する不当な制限をしている……」など、事実と反すると思われる内容があったことから、請願に反対

12月議会に提出された議員提出議案 [4本]

- 安全・安心の医療・介護の実現と勤務環境の改善を求める意見書 ⇒ 全会一致で可決
 (社民党会派の対応) 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員の増員や夜勤交代労働を含む労働環境の改善を実効性のあるものにし、医療提供体制を充実していくことが求められていることから、原案に賛成
- 障害者(児)の生きる基盤「暮らしの場」の整備を求める意見書 ⇒ 全会一致で可決
 (社民党会派の対応) 障害者(児)と家族は、生きる基盤となる「暮らしの場」の整備を切望しており、安心して暮らせる地域共生社会の実現のために、総合的な支援体制の構築に向けた取り組みなどを計画的に推進することが求められていることから、原案に反対
- 慎重な憲法論議を求める意見書 ⇒ 否決
 (社民党会派の対応) 多くの世論調査で憲法改正を求める意見は減少傾向にあり、憲法改正が国民的要求となっていないことから、原案に賛成
- 労働者の声を踏まえた真の「働き方改革」の実現を求める意見書 ⇒ 否決
 (社民党会派の対応) 労働時間規制を遵守し、すべての労働者を対象とする「労働時間の量的上限規制」や、「休憩時間(勤務間インターバル)規制」などの長時間労働抑制策を法的強制力のある形で導入することが、長時間労働を解消し過労死を根絶することにつながるから、原案に賛成
 ◎ 東が本会議にて提案理由説明をしました。

12月19日、富山市議会社民党会派は、来年度予算編成に関する113項目の要望書を提出しました。市当局に対し、1月末までに回答するよう、求めています。主な要望は、以下のとおりです。
 非正規職員の処遇改善／障がい者施設の拡充／公共交通の充実／小中学校の耐震化の早期実施／林業の振興に向け担い手の確保につながる助成の強化／など

市議会レポートに対する皆様のご意見や市政に関するご要望などをお聞かせください!

- 富山市議会社民党議員会控室 (市役所議会棟6階)
 〒930-8510 富山市新桜町7-38
 tel.443-2153 fax.441-5796
 メールアドレス syamins@pa.ctt.ne.jp
- 自宅 〒930-0864 富山市羽根990-104
 tel/fax.422-5010
 ホームページ <http://www.azuma-atsushi.com/>

あずま 東 あつし

富山市議会レポート

2018年1・2月

No.5

(発行責任者)
富山市議会社民党議員会

東 あつし



12月12日 本会議にて一般質問(一問一答)に立つ



11月14日 学校給食を視察(大広田小学校)



12月19日 今本副市長にH30年度予算編成に対する要望書を提出

ごあいさつ

皆様におかれましては、よき新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

12月議会では、10月の台風21号による被害の修繕費などを盛り込んだ補正予算が可決されました。これにより、水橋フィッシャリーナの係留施設や、水橋漁港の安全施設の復旧工事が実施されます。また、小中学校や地区センターでの窓ガラスや屋根などの破損についても改修されます。

条例改正案では、西番の富山市斎場にある式場(葬儀会場)と会館(法要会場)を廃止することが可決され、今年4月1日から使えなくなります。市は、(1)建設から50年が経過し老朽化している、(2)耐震性能を備えておらず利用者の安全確保ができていない、(3)式場や会館の利用者が減少傾向にある、ことなどを、廃止の理由としています。しかし、①式場は通夜に使えず(夜間営業していない)葬儀のみ可能で利用しづらい、②ここ3年の開館の利用者は微増している、などの実態があります。そもそも、利用料金が低廉な斎場内の式場と会館は、経済的に厳

しい、あるいは様々な事情があっても、ささやかでも葬儀と法要はしたいと願う市民にとって、なくてはならない公共施設です。したがって、社民党会派はこの条例改正案に反対しました。

また、12月議会では、新たに西田地方と豊田の2保育所を平成32年4月から民営化対象とする報告がされました。富山市では平成15年の針原に始まり、30年予定の石金に至るまで、既に25の保育所が民営化(予定)されています。経験豊富なベテラン保育士が多くいて安心できることをはじめ、公立保育所の良い面が多くあるのに、十分な検証なしに民営化を性急に進めていいものか、市民の皆様と共に考えていきたいと思ひます。

これからも、皆様のご意見をお伺いしながら、より暮らしやすく、よりあたたかい行政サービスが受けられる富山市にしていくため、奮闘してまいります。

何卒、宜しくお願ひ致します。

Q 教員の健康管理と働き方改革について

質問 教員のストレスチェックを富山市内のすべての小中学校で実施すべきだと考えるが、見解を問う。

答弁 教職員50人未満の学校においても、ストレスチェックを実施したいと考えているが、小規模校では学校の状況に精通した産業医の確保や、実施方法を調査・審議する衛生委員会の設置などについて課題があることから、それらの対応について現在、検討しているところである。【酒井教育委員会事務局長】

質問 ストレスチェックを実施することにより、教育委員会としてはどのような効果が得られると認識しているのか？

答弁 ストレスチェックの実施の目的ともされているが、職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげて働きやすい職場作りを進めることなどが期待できると考えている。【酒井教育委員会事務局長】

——ストレスチェックの主な内容——

- ①「時間内に仕事が処理しきれない」など心理的な負担の原因に関する17項目、②「活気が湧いてくる」など心身の自覚症状に関する29項目、③「上司や職場の同僚とどのくらい気軽に話ができるか」など他の職員からの支援に関する9項目、④「仕事に満足だ」など満足度に関する2項目の、合計57項目

質問 中央教育審議会が8月に発表した『学校における働き方改革に係る緊急提言』は、国の教育現場における働き方改革に向けての決意に満ちた緊急提言であると受け止めねばならないと思うが、市教育委員会として学校における働き方改革を推進するために、具体的にどのような手立てを講じているのか？

答弁 「勤務時間を意識した働き方改革」に関しては、教員が自分のパソコンで勤務時間を管理するシステムを利用し、試験的に調査を行っている。9月にすべての小中学校に配布しており、教員一人ひとりや管理職の働き方に関する意識付けにつながっている。「業務改善の取組」に

関しては、これまでも一つには教育委員会への報告書等を学校が作成・報告する際に報告しやすい様式にするなどの事務作業の軽減を行っている。二つには、富山市共通の成績処理システムや出席簿入力システムをより使いやすいものに更新するなどの事務の効率化、三つにはスクールソーシャルワーカー、スクールサポーターを配置するなどの教員のサポート体制の充実など、教員の負担軽減、役割分担の推進に取り組んでいる。なお、各学校長には定例の校園長会において、学校経営の目標の中に教員の多忙化解消を位置付けさせ、具体的な業務改善の手立てを行うよう指示し、その後、学校訪問研修会等の折に、市内全ての小中学校長との面談を行い、進捗状況の確認と指導を行うなど、管理職への意識改革を推進している。【宮口教育長】

東の思い

教員の過酷な労働実態、平日の超過勤務や土日休日の部活動などは社会的な問題となっており、市議会でも何度も取り上げられています。市教育委員会でも、教員の勤務実態を把握することが必要だと考え、17年6月から試験的に11の小中学校で、出退勤及び休日出勤の状況調査を行っています。6月から8月の3か月間の教員1人あたりの1か月の平均の時間外勤務は、小学校では51時間41分、中学校では65時間53分という結果が出ています。(夏休みを含んでいるので、実際はもう少し長くなる)

富山県教職員組合の17年9月末から10月にかけての勤務実態調査でも、過労死ラインとされる80時間以上の残業をしている教員は小学校で約60%、中学校で約50%となっています。

教員の健康管理をしっかりとしていくと同時に、働き方を改革して長時間労働を解消していくことは、市教育委員会のみならず、社会的な責務ではないでしょうか。




東 篤氏 (社民) 教員にストレス検査
 全教職員を対象にストレスチェックを実施すべきだ。酒井教育委員会事務局長、法律に基づいて教職員50人以上の2中学校で行っている。50人未満の学校でも実施したいと考えている。
 富山県教職員組合の17年9月末から10月にかけての勤務実態調査でも、過労死ラインとされる80時間以上の残業をしている教員は小学校で約60%、中学校で約50%となっている。

北日本新聞 2017年12月13日(水)

Q 公共交通の利用促進について

質問 上屋付きのバス停が整備できない個所では、近隣の公共施設や民間企業、店舗などを待合施設として活用できるよう、協力の賛同を得ているところがあると聞いている。富山市として、さらに各所に待合施設として使わせていただくよう協力を求めていくことが必要だと考えるが、見解を問う。

答弁 路線バスのバス停については、主に交通事業者において快適性の向上を図るため、運行頻度が高く利用者が多いバス停を中心に、上屋付きのバス停が整備されているが、道路幅員が狭い場所や費用面、利用者が少ないなどの理由から、多くのバス停で整備がなされていない状況である。公共施設や民間企業、店舗などを、待合施設として活用することについては、既に利用されているケースが見受けられるが、バスの待合施設の設置はバス利用者の利便性向上と利用促進につながる取り組みであることから、その手法について今後、交通事業者とともに検討したいと考えている。【高森都市整備部長】



教員勤務時間管理システム試験調査
 東 篤氏 (社民) 全ての小中学校で教員のストレスチェックをすべからず実施したい。酒井教育委員会事務局長、努力義務の教職員50人未満の学校でも実施したい。また、小規模校では産業医の確保などの課題があり、対応を検討している。
 東 篤氏 中央教育審議会の緊急提言への対応は、教員がパソコンで勤務時間を管理するシステムを9月に全小中学校に配布し、試験調査を行っている。働き方に関する意識付けにつながっている。
 東 篤氏 バス停周辺の公共施設や店舗を待合室にしようか。高森都市整備部長、費用面などから多くのバス停で整備がなされていない。交通事業者と協議して検討を進めたい。
 富山新聞 2017年12月13日(水)

質問 富山市では、郊外の平野部にも公共交通空白地域が存在するが、これらの地域にデマンドタクシーを運行することで、公共交通空白地域の解消を図るべきだと考えるが、市当局の見解を問う。

答弁 本市では、公共交通空白地域における交通サービスの提供は地域自主運行を基本とし、その運行方式は地域の特性に応じて選択していただき、市はその運行を支援することとしている。しかしながら、デマンドタクシーの運行は交通事業者との利害関係が生じる恐れや、富山市交通空白輸送地域公共交通会議で同意を得ること

は容易でないことから、難しいものと考えている。【高森都市整備部長】

東の思い

公共交通のうち、バスについては、①ラッシュ時や降雪時などは定時運行が確保されにくい、②またバス停に上屋がなければ降雨時や降雪時には厳しい条件の中で待たなければならないなど、鉄道にはない悪条件があり、それがバス利用促進の障害の一つになっています。例えば、病院に行くためにバスを待っていて、遅れたために体が冷えたり、ずっと立ちっぱなしで待つことにより、逆に病気が悪化したなどということがあっては、本末転倒です。

11月下旬、旭川市のデマンドタクシー（自宅や指定の場所まで迎えに来てくれる予約制の乗合タクシー）を視察しました。市内のある中山間地域で、乗合バスが廃止されてデマンドタクシーに切り替わりましたが、(1)運行便数が増、(2)乗客数が増、(3)1便あたりの運行経費が減、(4)逆に運賃収入は増、(5)運賃はあまり変わらず、(6)市や国庫補助金が減、(7)運行業者が負担する赤字額も減、など、旭川市のデマンドタクシーは成功例だと感じました。

私は、議会で何度か公共交通の問題について質問していますが、「富山市の一般会計は約1,600億円だが、コミュニティバス、まいどはやバスなど、交通政策のソフト事業を中心に全部で8億4千万円使っている。おそらく全国の自治体でかなり突出した金額。地元でも負担してもらわないと、持続性が持てない」（昨年6月議会での市長答弁）との考えで固まっています。中心市街地は新しい建物が次々と建ち様変わりしていますが、中心街に行く公共交通がない地域の、自家用車を持たない高齢者や子どもたちは困っています。

これからも、公共交通の拡充について議会で取り上げて、改善を図っていかねばならないと思います。

ご存知ですか？ とやまバスi (アイ)

富山市内と高岡市街地を中心に走る路線バスの位置情報・時刻表を提供しているウェブサイトです。スマホからでも「とやまバスi」と入力して見ることができます。使いづらさもありますが、自分の乗りたいバスの現在位置が確認できます。一度、試してみませんか。